

病気で苦しむ人を助けたい

筑波大学附属小学校 三年 大場 悠人

半年前、ぼくの祖母の顔半分が、別人のようになってしまいました。顔面まひ、という病名で、多くはウイルスが原因となる病気だそうです。早めに治りようしたこともあり、幸い祖母の顔は、すぐに元にもどりました。しかし顔を見られないように下を向き、笑う表情をつくることすらできなかつたあの時の祖母の姿は、ぼくにとってしょうげきでした。ぼくの将来の夢は医者になることです。それは小さいころから変わっていません。そして今回の祖母の事で、その想いはより強くなりました。なぜなら、病気を治すことは患者さんの笑顔も引き出すということを、目の当たりにしたからです。

医者になるには多くの勉強をする必要があります。学校でのきそ学力はもちろん、グローバル化を考えると英語も重要になってきます。また、自分の意見を英語できちんと伝えら

れるよう日ごろから訓練することも大切です。大学に入ると、本格的な医学の勉強に加え、実習や国家試験に合格するための準備も必要です。医学に興味がある、というだけでは、この努力を続けることは難しいと思います。そこに「病気で苦しむ人を助けたい。」という強い気持ちがないと、医者になつたその先に自分がついていけないと思うからです。ぼくが大人になるころ、AI（人工知能）は、さらに進歩して医療の現場に必要な存在になっていると思います。AIは、速く正確にデータを出すことができる強みを持っています。しかし人間の医者も必要不可欠です。なぜなら、「病気で苦しむ人を助けたい、笑顔にしたい。」という気持ちは、AIにはない人間の大きな強みだと思うからです。ぼくは、この人間の強みを大切にしながら、将来の夢に向かって、日々努力していきたいと思っています。

のライフプラン

将来なにになりたいか? **医者**

その理由: **けがや病気で苦しむ人を助けたいから**

夢をかなえるまでのスケジュール

西暦(年)	年齢(学年)	夢をかなえるために努力すること	努力するために、なににお金がかかりそうか
2023年	8才(3年)	きそ学力を身につけるため、すべての教科に全力で取り組む。	・本代
2024年	9才(4年)	医療の現場を知るために見学やボランティア参加	・イベント参加費
2025年	10才(5年)	海外での仕事を医療を知るために英語を学ぶ	・英語レッスン代 ・本代
2026年	11才(6年)	自分の意見を伝えられるようプレゼンの練習	・パソコン代 ・英語レッスン代
2027年	12才(中1)	中学でのきそ学力を身につける	・本代 ・いづく代
2028年	13才(中2)	AIと医療について考えている	
2029年	14才(中3)	進学や受験のため勉強する。	
2030年	15才(高1)	高校でのきそ学力を身につける。	
2031年	16才(高2)	医学部にむけて勉強をがんばる。	
2032年	17才(高3)	どこの大学を受験するか考える。	✓
2033年	18才(大1)	一冊の教養を身につけ、英語をがんばる。	・大学費用 ・本代
2034年	19才(大2)	きそ医学を学ぶ。留学をして外国のことも学ぶ。	
2035年	20才(大3)	きそ医学と、留学	
2036年	21才(大4)	内科や外科など臨床医学を学ぶ。	
2037年	22才(大5)	病院での実習をする。	
2038年	23才(大6)	国家試験に合格して医師になる。	・国家試験受験料
2048年	33才	AIを活かした医療で、病気の発見・治療ができる医者として活躍したい。	